

地域の固有性にねざした社会資源開発に関する研究

研究キーワード



- 地域福祉
- 社会資源開発（文化資源・地域資源）

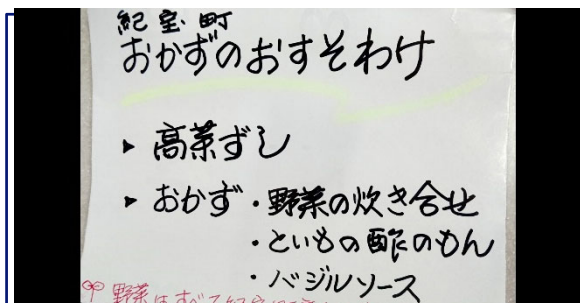
連携アピール



- いわゆる“制度の狭間”問題への対応や、包括的支援体制の構築に向けて、地域づくり、社会資源開発への関心が高まっています。それぞれの地域社会がもつ固有の生活文化を基盤とした社会資源の発見・開発・活用に取り組んでいます。

本研究の概要

- 本研究の目的は、生活者である住民に意識化されないまま現在の生活の基盤となっている生活文化を社会資源として活用可能にする方法について明らかにすることです。
- 生活のなかに潜在化し、生活者である住民に意識化されないまま現在の生活基盤となっている「世代を超えて積みかさねられ受け継がれていく生活文化」を活用可能な資源として意識化することを「文化資源の顕在化」と捉え、意識化のきっかけ、文化資源として活用可能となる条件、文化資源の顕在化プロセスにおいて地域住民に及ぼす影響などについて明確にしたいと取り組んでいます。



研究者



大井 智香子（おおい ちかこ）
現代日本社会学部現代日本社会学科 准教授

